

上野瑞香 ‘UENO MIZUKA’ の世界

個人が自分を大切にすゝ時代。新しい生活様式に不安や戸惑いを感じる時代。

困難に直面しても、自分自身を尊重し優しく理解し、感情のバランスを取り、

前へ前へと明るい未来に突き進んで行く力を持ち合わせています。

そして人に優しくしてあげるように自分にも優しくしてあげることの出来る

セルフ・コンパッション (self-compassion) を備え、どんな状況でも

あるがままの自分を受け入れ、また同時に皆さんをも自然に和ませます。

上野瑞香は、そんな自分を素朴に見つめ、「有り、在り、あり」と肯定する

信条を「蟻」の姿で表現します。

少しデフォルメしてイメージ化した「蟻」が自分自身であり、観てくださって

いる貴方でもあります。蟻はちいさくても懸命に生きています。

上野作品にサインや落款はありません。「蟻」がサイン、落款なのです。